

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 26日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県三島市文教町1-5-15

氏名 加和太建設株式会社

代表取締役 河田亮一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

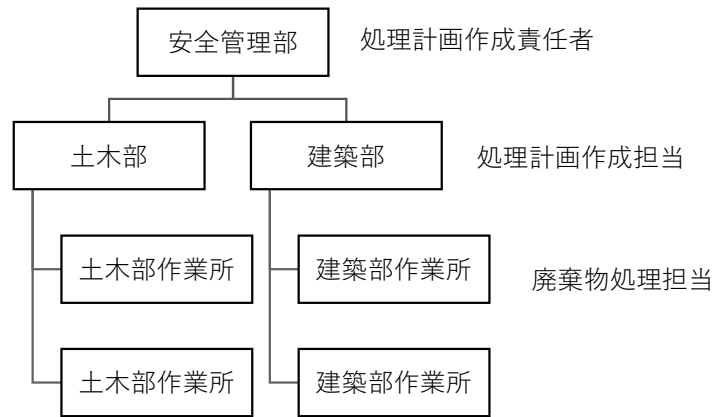
電話番号 055 - 987 - 5541

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	加和太建設株式会社		
事業場の所在地	静岡県	三島市	文教町1-5-15
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	総合工事業		
② 事業の規模	前年完成工事高：143億		
③ 従業員数	284名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和 5年度）実績】</b>	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	337.016 t
	木くず	2,267.555 t
	繊維くず（天然繊維くず）	5.744 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	949.425 t
	廃プラスチック類	81.533 t
	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	10,064.112 t
	紙くず	4.260 t
	金属くず	36.344 t
	蛍光灯	1.750 t
	建設混合廃棄物	472.390 t
	石綿含有産業廃棄物	8.538 t
	(これまでに実施した取組) 紙くずや金属くず等は有価物として分別回収を進め、なるべく排出量を抑えるようにしている。また、がれき類については解体工事の受注量に合わせて毎年増減してしまうが、なるべく分類し排出できるようにしている。	
<b>【目標】</b>		
産業廃棄物の種類	排出量	
汚泥（泥状のもの）	300.000 t	
木くず	2,000.000 t	

②計画	繊維くず（天然繊維くず）	5.000 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	900.000 t
	廃プラスチック類	80.000 t
	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	10,000.000 t
	紙くず	1.000 t
	金属くず	1.000 t
	蛍光灯	1.000 t
	建設混合廃棄物	100.000 t
	石綿含有産業廃棄物	10.000 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>なるべく、混廃として出さず、分類することと、今後も石綿含有の建物の解体、改修工事は増加すると予測されるため確実に分類排出を行っていく。</p> <p>また分類すれば産業廃棄物にならない紙や金属くずは排出量最小単位で目標1 tとする。</p>	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき、汚泥などは引き取り先に合わせ分別を行っている。	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） まだ混廃で出している現場もあるため、木くずや廃プラ等分別して処分に出すように促す。	









						0.000 t
		(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	汚泥（泥状のもの）	0.044	0.000	0.000	336.972	337.016
	木くず	167.070	0.000	0.000	2,100.485	2,267.555
	繊維くず（天然繊維くず）	4.952	0.000	0.000	0.792	5.744
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	782.975	0.000	0.000	166.450	949.425
	廃プラスチック類	75.590	0.000	0.000	5.943	81.533
	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	2,586.896	0.000	0.000	7,477.216	10,064.112
	紙くず	4.260	0.000	0.000	0.000	4.260
	金属くず	29.493	0.000	0.000	6.851	36.344
	蛍光灯	1.693	0.000	0.000	0.057	1.750
	建設混合廃棄物	469.916	0.000	0.000	2.474	472.390
	石綿含有産業廃棄物	6.660	0.000	0.000	1.878	8.538
	(これまでに実施した取組) 優良業者がいる場合は優良業者に優先して排出するようにしている。					



産業廃棄物の種類	【目標】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
汚泥（泥状のもの）	300.000	0.000	0.000	0.000	300.000
木くず	2,000.000	0.000	0.000	0.000	2,000.000
繊維くず（天然繊維くず）	5.000	0.000	0.000	0.000	5.000
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	900.000	0.000	0.000	0.000	900.000
廃プラスチック類	80.000	0.000	0.000	0.000	80.000
がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	10,000.000	0.000	0.000	0.000	10,000.000
紙くず	1.000	0.000	0.000	0.000	1.000
金属くず	1.000	0.000	0.000	0.000	1.000
蛍光灯	1.000	0.000	0.000	0.000	1.000
建設混合廃棄物	100.000	0.000	0.000	0.000	100.000
石綿含有産業廃棄物	10.000	0.000	0.000	0.000	10.000
（今後実施する予定の取組） なるべく優良処分先を選定し、排出する。					
※事務処理欄					



(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。